

【第三種郵便物認可】

災害時、メッセージ照射

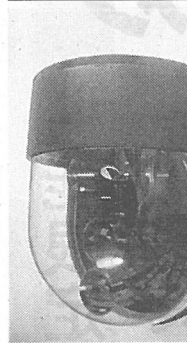
イーエルティー光学レーザー装置

光学計測機器などを製造・販売するイーエルティー(東京・練馬、高野裕社長)は、災害時などに光学素子を使ったレーザーで周囲にメッセージを照射する装置を開発した。写真。火災報知機などのセンサーが反応すると、あらかじめ設定したメッセージを壁などに照

射する。避難時に入入り口や危険な区域を知らせる用途などを見込む。近距離無線通信規格

「ZigBee(ジグビー)」機能を搭載しており、火災報知機などと無線で通信してデータなどをやりとりする仕組み。2014年

中に販売を始める計画で、一般の企業やセキュリティ会社などに売り込む。価格は30万円前後になる見通し。30分離れた場所までメッセージを照射することが可能。メッセージは例えば「侵入禁止」など3つまで設定することができる。侵入者に対し警告のメッセージを発するなど、セキュリティ関連のサービスへの利用も見込んでいる。



開発した装置はACアダプターで電気を得るほか、ニッケル水素電池などを内蔵している。停電時には電池で駆動する。

開発した装置はACアダプターで電気を得るほか、ニッケル水素電池などを内蔵している。停電時には電池で駆動する。